

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 5 部門第 1 区分
【発行日】平成 17 年 3 月 10 日 (2005.3.10)

【公開番号】特開 2003-106111 (P2003-106111A)
【公開日】平成 15 年 4 月 9 日 (2003.4.9)
【出願番号】特願 2001-305556 (P2001-305556)
【国際特許分類第 7 版】

F 0 1 L 1/14

F 0 1 L 1/18

【F I】

F 0 1 L 1/14 E

F 0 1 L 1/18 N

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 4 月 5 日 (2004.4.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 5】

上記 (1) 式を満足する母線形状で、上記タペットローラ 6 の外周面にクラウニングを施した場合、本発明者等の面圧解析の結果によれば、上記タペットローラ 6 の外周面とカム 2 の外周面との間に 5 / 1 0 0 0 程度の傾きが生じて、これら両周面同士の当接部にエッジロードに基づく過大な面圧が加わる事はない。従って、上記タペットローラ 6 の外周面に形成した、固体潤滑処理皮膜又は窒化処理皮膜の一部が早期に剥離する事を防止して、エンジンの慣らし運転時等の、上記タペットローラ 6 及び上記カム 2 の外周面に傷等の損傷が生じる事を防止して、これらタペットローラ 6 及びカム 2 を含むエンジンの動弁機構の耐久性向上を図れる。